



## 採用医薬品の後発品への切り替えについて

2018年6月開催の薬事委員会において、院内採用医薬品18品目の後発品への切替が承認されました。つきましては、院内の在庫がなくなり次第、順次後発品へ切替えることと致します。

薬品検索時には、後発品の名称あるいは先発品の名称のいずれからでも検索出来るように致します。

例：ピオグリタゾン錠15mg「EE」⇒『ピオグリタゾン』『アクトス』のどちらでも検索可

※薬品在庫の調整の関係で、一時的に後発品と先発品の両者が混在して表示されることがあります。

場合によっては薬剤部から修正を依頼する場合がありますが、ご配慮願います。

### ◎後発品への切り替え一覧

| 先発薬品名           | 会社名      | 後発薬品名                    | 会社名              |
|-----------------|----------|--------------------------|------------------|
| 【内用薬】           |          |                          |                  |
| アクトス錠15         | 武田テバ薬品   | ピオグリタゾン錠15mg「EE」         | エルメッドエーザイ        |
| イソバイドシロップ70%    | 日本新薬     | イソソルビド内用液70%「CEO」        | セオリアファーマ         |
| イルベタン錠100mg     | 塩野義製薬    | イルベサルタン錠100mg「DSPB」      | 大日本住友製薬          |
| オルメテックOD錠20mg   | 第一三共     | オルメサルタンOD錠20mg「DSEP」     | 第一三共エスファ         |
| カルブロック錠16mg     | 第一三共     | アゼルニジピン錠16mg「ケミファ」       | 日本ケミファ           |
| キシロカインビスカス2%    | アスペンジャパン | リドカイン塩酸塩ビスカス2%「日新」       | 日新製薬             |
| クレストールOD錠2.5mg  | 塩野義製薬    | ロスバスタチンOD錠2.5mg「DSEP」    | 第一三共エスファ         |
| ティーエスワン配合OD錠T20 | 大鵬薬品工業   | エスワンタイホウ配合OD錠T20         | 岡山大鵬             |
| ティーエスワン配合OD錠T25 | 大鵬薬品工業   | エスワンタイホウ配合OD錠T25         | 岡山大鵬             |
| パリエット錠10mg      | EAファーマ   | ラベプラゾールNa塩錠10mg「明治」      | Meiji Seika ファルマ |
| ミカルディス錠40mg     | アステラス製薬  | テルミサルタン錠40mg「DSEP」       | 第一三共エスファ         |
| リバロOD錠2mg       | 興和創薬     | ピタバスタチンカルシウムOD錠2mg「日医工」  | 日医工              |
| 【注射薬】           |          |                          |                  |
| 注射用エラスポール100    | 小野薬品工業   | シベレスタットNa点滴静注用100mg「ニプロ」 | ニプロ              |
| シグマート注48mg      | 中外製薬     | ニコランジル点滴静注用48mg「サワイ」     | 沢井製薬             |
| ゾシン静注用2.25      | 大正富山医薬品  | タソピペ配合静注用2.25「ファイザー」     | ファイザー            |
| ゾシン静注用4.5       | 大正富山医薬品  | タソピペ配合静注用4.5「ファイザー」      | ファイザー            |
| 5-FU注250mg      | 協和発酵キリン  | フルオロウラシル注250mg「トーワ」      | 東和薬品             |
| 5-FU注1000mg     | 協和発酵キリン  | フルオロウラシル注1000mg「トーワ」     | 東和薬品             |

院外処方についても、院内の後発品への切り替えと同時に後発品をオーダーに追加致します。

なお、院外処方では従来の先発品も引き続き処方出来るようにしますが、後発品の使用促進(調剤薬局での代替調剤推進)のため、やむを得ない事情(後発品に保険適応がない、又は患者からの強い要望がある、等)を除き、「後発医薬品への変更不可」の指示は避けて頂くようご配慮願います。